

September 23, 2020

【前日の為替概況】ドル全面高、対円 105.08 円、対ユーロ 1.1692 ドル、対ポンド 1.2711 ドル

22日のニューヨーク外国為替市場でドル円は続伸。終値は104.93円と前営業日NY終値（104.65円）と比べて28銭程度のドル高水準。20時前に一時104.41円と日通し安値を付けたものの、NY勢がドル買いで参入すると次第に強含んだ。ダウ平均が一時180ドル超上昇したほか、米10年債利回りが上昇に転じたことも相場の支援材料。前日の高値104.86円や18日の高値104.87円を上抜けると上昇に弾みが付き、一時105.08円まで上値を伸ばした。ただ、引けにかけてはやや上値が重くなり、105円台は維持できなかった。

パウエル米連邦準備理事会（FRB）議長は米下院金融サービス委員会で証言し「米国経済は回復基調にあるが、依然として不透明」「FRBは引き続き必要とされる期間、あらゆる政策手段を講じることにコミット」「金融だけでなく財政支援も必要」などと語ったが、前日に証言内容が伝わっていただけに目立った反応は見られなかった。

ユーロドルは3日続落。終値は1.1708ドルと前営業日NY終値（1.1771ドル）と比べて0.0063ドル程度のユーロ安水準。欧州で新型コロナウイルスの感染再拡大による新たな規制強化が懸念されて、ユーロ売り・ドル買いが優勢となり1.1692ドルと7月27日以来約2カ月ぶりの安値を更新した。

ポンドドルは新型コロナを巡る英政府の規制強化などを受けて売りが広がり、1.2711ドルと7月23日以来約2カ月ぶりの安値を更新した。

ユーロ円も3日続落。終値は122.86円と前営業日NY終値（123.19円）と比べて33銭程度のユーロ安水準。NY市場に限ればドル円とユーロドルの値動きの影響を同時に受けたため、方向感が出なかった。

トルコリラは足もとの下落傾向が継続。対ドルで一時7.6708リラ、対円で13.63円と史上最安値を更新した。なお、今週24日にはトルコ中銀が政策金利を発表する。市場では金利据え置きとの見方が大勢を占めるものの、一部では「リラの下落を食い止めるため、利上げに踏み切る」との予想も出ている。

【本日の東京為替見通し】ドル円、NY株高・米金利上昇で底堅い展開か

本日の東京外国為替市場のドル円は、欧米での新型コロナウイルス第2波への警戒感が高まっていることで、NY株高・米金利上昇を受けて底堅い展開が予想される。

ドル円の注文状況は、上値には、105.00円に24日のNYカットオプション、105.10-60円には断続的にドル売りオーダーが控えている。下値には、104.50円にはドル買いオーダーと25日のNYカットオプション、104.40円にはドル買いオーダー、割り込むとストップロス売りが控えている。

ドル円のテクニカル分析では、陰線新安値5手で下落トレンドを形成した後、104.00円まで下ヒゲを伸ばした切込み線、2手連続陽線となっており、綾戻しの可能性を示唆している。上値のテクニカルポイントは、一目・転換線の105.13円、一目・基準線105.48円、一目・雲の下限105.97円に控えている。

欧米での新型コロナウイルス第2波による感染拡大への警戒感が高まっていること、米政府の内部文書（フィンセン文書）で複数の世界的な大手金融機関が過去20年近く巨額のマネーロンダリング（資金洗浄）に利用されていた疑いがあることが発覚したことなどで、安全逃避のドル買いが優勢となっている。

ドル円の売りの材料は以下の通り。

- ・米連邦準備理事会（FRB）が2023年までゼロ金利政策の継続を示唆したこと
- ・米中対立激化への警戒感と中国による米国債売却の可能性
- ・共和党と民主党による新型コロナ景気対策法案の協議難航
- ・米国の「双子の赤字」の拡大と米国債格下げへの警戒感
- ・米大統領選でのトランプ米大統領の劣勢懸念
- ・「フィンセン文書」を巡る欧米金融機関のマネーロンダリング（資金洗浄）関与疑惑
- ・新型コロナウイルス感染第2波への警戒感

ドル円の買い材料は以下の通り。

- ・アベノミクスからスガノミクスへの継承
- ・本邦機関投資家による旺盛な外債投資意欲

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

- 13:30 ◇ 7月全産業活動指数（予想：前月比 1.3%）
- 14:35 ◎ 黒田日銀総裁、あいさつ

<海外>

- 11:00 ☆ ニューージーランド準備銀行（RBNZ）、政策金利発表（予想：0.25%で据え置き）
- 14:00 ◎ 8月シンガポール消費者物価指数（CPI、予想：前年比▲0.5%）
- 15:00 ◇ 10月独消費者信頼感指数（Gfk 調査、予想：▲1.0）
- 16:15 ◎ 9月仏製造業購買担当者景気指数（PMI）速報値（予想：50.5）
- 16:15 ◎ 9月仏サービス部門 PMI 速報値（予想：51.5）
- 16:30 ◎ 9月独製造業 PMI 速報値（予想：52.5）
- 16:30 ◎ 9月独サービス部門 PMI 速報値（予想：53.0）
- 17:00 ◎ 9月ユーロ圏製造業 PMI 速報値（予想：51.9）
- 17:00 ◎ 9月ユーロ圏サービス部門 PMI 速報値（予想：50.5）
- 17:30 ◎ 9月英製造業 PMI 速報値（予想：54.1）
- 17:30 ◎ 9月英サービス部門 PMI 速報値（予想：56.0）
- 19:00 ◎ デコス・スペイン中銀総裁、講演
- 20:00 ◇ MBA 住宅ローン申請指数
- 22:00 ◇ 7月米住宅価格指数（予想：前月比 0.5%）
- 22:00 ◎ メスター米クリーブランド連銀総裁、講演
- 22:45 ◎ 9月米製造業 PMI 速報値（予想：53.1）
- 22:45 ◎ 9月米サービス部門 PMI 速報値（予想：54.7）
- 22:45 ◎ 9月米総合 PMI 速報値
- 23:00 ☆ パウエル FRB 議長、下院特別小委員会で新型コロナウイルスについて証言
- 23:30 ◇ EIA 週間在庫統計
- 24:00 ◎ エバンズ米シカゴ連銀総裁、講演
- 24日 01:00 ◎ ローゼンブレン米ボストン連銀総裁、講演
- 24日 02:00 ◎ 米財務省、5年債入札
- 24日 02:00 ◎ カシュカリ米ミネアポリス連銀総裁、講演
- 24日 02:00 ◎ ボスティック米アトランタ連銀総裁、講演
- 24日 03:00 ◎ クオールズ FRB 副議長、講演
- 24日 04:00 ◎ デイリー米サンフランシスコ連銀総裁、講演

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

22日 11:59 デベル RBA 副総裁

「マイナス金利は選択肢の一つだが、議論が深まっているわけではない」

「RBA は為替市場を注視している」

「為替介入は可能性のある政策オプション」

22日 15:19 カーン英ロンドン市長

「政府は感染第1波のミスについて学ばなければならない」

「今朝首相に電話をかけロンドンの案を提出する」

「首相は今すぐに行動に移しロンドン内の感染を弱めなければならない」

22日 16:44 ベイリー英中銀(BOE)総裁

「失業率は報告されているよりも高いだろう」

「英国の回復はかなり急速だが、回復は非常に不均一」

「英経済をサポートするためなら何でもする」

「マイナス金利を含め、利下げの余地は非常に厳しいとみている」

「インフレ目標2%に向けて著しい進展の証拠が明確になるまで引き締め行動を言及しない」

「新型コロナの再感染拡大でBOEの見通しに下方向のリスク」

22日 18:29 イングベス・リクスバンク(スウェーデン中銀)総裁

「必要に応じてバランスシートを今よりも拡大させる可能性がある」

「QEは金利を低く抑える最も効率的な方法」

22日 20:31 コーヴニー・アイルランド外相

「英国政府は複雑な協議を更に困難にしている」

「欧州連合(EU)は合意を望んでいる」

「英国は自国の評判にダメージを与えている」

「漁業権の合意がないと英国とEUに並外れた不確実性を導くだろう」

22日 20:47 ジョンソン英首相

「新型コロナウイルスは危険な転換期に達した」

「今回は3月のような完全なロックダウンに戻るわけではない」

「学校、大学などは通常通り開校」

「家から仕事ができない建設業などはそのまま労働可能」

「木曜日から、すべてのパブ、バー、レストラン22時まで閉店」

「ルールに違反した場合、企業には罰金が科される」

22日 21:13 パネッタ欧州中央銀行(ECB)専務理事

「ECBによる刺激策の結果にまだ満足していない」

「インフレは目標値を下回ったまま」

「ユーロの上昇は我々が注視する必要のある中の一つ」

22日 21:22 カジミール・スロバキア中銀総裁

「状況に応じて再び行動する準備」

22日 22:49 トランプ米大統領

「米連邦最高裁判所判事の候補を土曜日に指名する」

22日 23:11 エバンズ米シカゴ連銀総裁

「米国経済は危機前から約90%戻すことが出来た」

「米失業率は年末に7-7.5%と予想」

「2%のインフレ目標の達成は困難」

「FRBは平均2%のインフレ目標達成前に利上げする可能性」

23日 00:20 パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長

「米国経済は回復基調にあるが、依然として不透明」

「FRBは引き続き必要とされる期間、あらゆる政策手段を講じることにコミット」

「金融だけでなく財政支援も必要」

「米国経済は弾力性を証明した」

「さらなる財政支援が必要となる可能性が高い」

23日 01:28 ムニューシン米財務長官

「中国は農産物購入を履行しようとしている」

23日 01:44 バーキン米リッチモンド連銀総裁

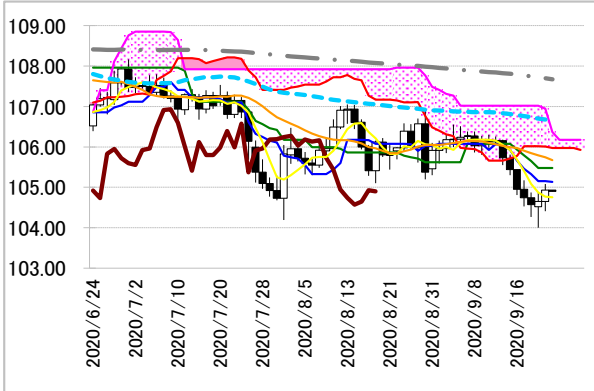
「新型コロナウイルスと財政・政治の不確実性で経済予測はより困難」

「失業保険申請は非常に高い水準を維持」

「労働市場の改善が減速することを想定する必要」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

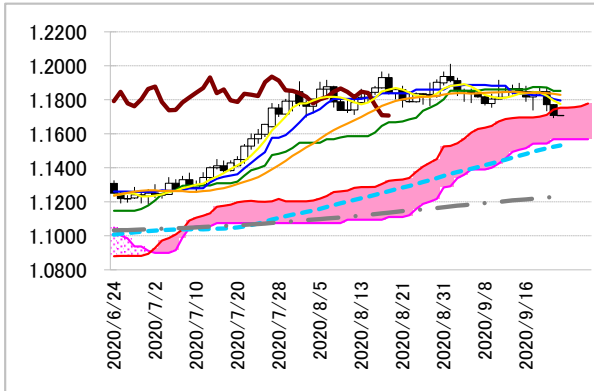


<ドル円=9/22 安値を支持に押し目買いスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。陰線新安値5手で下落した後、2手連続陽線で反発基調にあり、綾戻しの可能性が示唆されている。

本日は、9月22日の安値を支持に押し目買いスタンスで臨み、同水準を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	105.48(日足一目均衡表・基準線)
前日終値	104.93
サポート1	104.41(9/22 安値)
サポート2	104.00(9/21 安値)

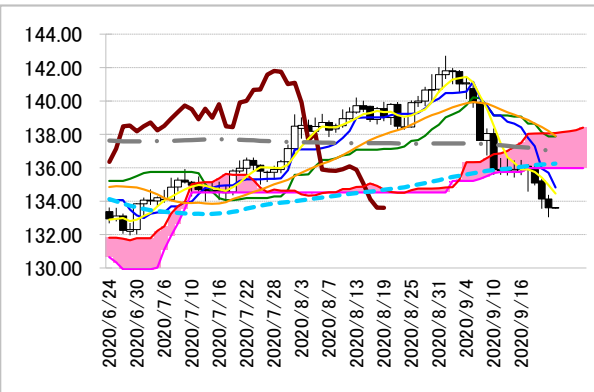


<ユーロドル=転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の中で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。高値圏での逆行現象(ダイバージェンス)、3手連続陰線で転換線を下回っていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.1796(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	1.1708
サポート1	1.1567(日足一目均衡表・雲の下限)

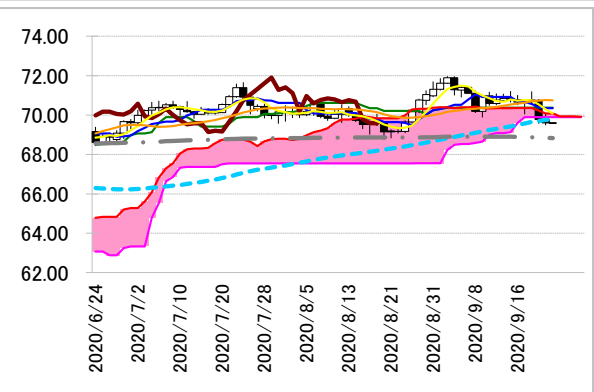


<ポンド円=転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。4手連続陰線で転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	134.82(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	133.61
サポート1	133.05(9/22 安値)



<NZドル円=転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を上回っているものの、一目・雲の下で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。3手連続陰線で転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	70.35(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	69.60
サポート1	68.76(8/20 安値)

